

宇都宮市立細谷小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化を図る。	家庭学習の手引きを配付し、家庭と協力して「自学(自分で考えて学ぶこと)」を全校で推進している。	どの学年も家庭学習が習慣化してきたことが結果に表れている。学校の授業以外に学習している時間は、各学年市の平均を上回っている。また、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童は、3、4、5、6学年で市の平均を上回っている。1、2年生も家庭で毎日きちんと学習する児童の割合が高い。
分かる・できる授業作りの展開(ユニバーサルデザインを意識した環境・授業)	落ち着いて授業に集中できるように教室環境をすっきりさせ、学習用具もシンプルなものに全校で統一した。また「誰にでも分かる授業」を意識し、板書、発問の工夫をしている。	目に見える点数の向上は見られないが、学習のめあて・ねらいとまとめを全員が書くように指導した効果が表れてきており、さらに定着させていきたい。今後、学年に応じた振り返りにも力を入れ、メタ認知力を育てていきたい。
基礎・基本の定着	登校したら静かに読書をして、落ち着いて1日が始められるように全校で取り組んできた。朝の学習や授業において、ステップアップシート等も活用し、授業内容の復習に力を入れた。漢字、計算オリンピックを年3回実施し、意欲を高めながら基礎・基本の定着を図った。	朝から集中して学習に取り組めるようになり、学びの姿勢ができてきた。漢字・計算オリンピックに向けて全校で意欲を高め、一人一人が金メダル目指して努力したことが、少しずつ結果に表れつつある。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・4～6年生は、国・県・市の調査ともに市の平均を下回るものが多かった。また、各学年とも漢字の書きやローマ字、計算などの基本的な事項でも正答率が低いものがあった。読解力を要する問題や記述式の問題の正答率も低い。すべてに重要な基礎・基本の定着を目指し、今後も落ち着いて学習できる環境作りとユニバーサルデザインを意識した分かりやすい授業と振り返りを全校体制でしっかり行っていきたい。

・アンケートの結果から、「家庭できちんと学習をしている」「自分で計画を立てて学習している」の肯定的回答率がどの学年も高いので、今後も自学を推進し、学年に応じて、内容も伴ったものになるように、次年度もさらに工夫をしていきたい。